

血液内科 後期研修プログラム

1. 診療科の特色

病棟内に無菌室 4 室とそれらをつなぐ廊下をクリーンユニットとして独立して備えている。2006 年度より自家末梢血幹細胞移植を悪性リンパ腫、骨髄腫などの治療に導入し、2007 年度より急性白血病に対して血縁者間同種造血幹細胞移植を開始した。今後は院内で造血幹細胞移植を確立するための環境整備とスタッフの育成、幅広い治療ができる診療体制を目標の一つに掲げている。

2. 研修期間

後期研修 3 年間

3. 目標

【一般目標 GIO】

日本血液学会専門医研修カリキュラムにのっとりた疾患、検査、処置を経験していきながらエビデンスにそった治療計画を実践していける能力を習得していく。輸血療法に関しては日本輸血・細胞治療学会の認定制度指定カリキュラムに準じて、適正な輸血療法を行えることを目標とする。

【個別目標 SBO s】

医の倫理と医療安全について考えながら診療を行える。

適正で安全な輸血を行える。

骨髄穿刺、骨髄生検を施行し骨髄像をよむことができる。

中心静脈カテーテル挿入、PICC 挿入を一人で行える。

抗がん剤の髄腔内投与処置を一人で安全に行える。

悪性疾患に対する各種化学療法を習得し安全に施行できる。

血液疾患患者の外来診療を行うことができる。

外来化学療法を適切に行うことができる。

造血器疾患に対する適切な治療方針を決定できる。

造血幹細胞移植を理解しその手技と診療を理解する。

病棟回診、外来診療で空き時間ができた場合には、以下の部門での研修を行う。

- ・ 病理部：リンパ節生検標本の検討、細胞診標本の検討
- ・ 放射線科：放射線治療の適応および計画、CT、MRI、PET の画像診断
- ・ 化学療法部：外来化学療法
- ・ 緩和ケア：緩和ケアカンファレンスへの参加、終末期医療への正しいアプローチ
- ・ 関連外科：リンパ節生検、腫瘍生検、および根治手術への検討、参加

4. 方略

診療、勉強会スケジュール

<血液内科>週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	担当医回診に同行 カルテ記載	担当医回診に同行 カルテ記載	担当医回診に同行 カルテ記載	担当医回診に同行 カルテ記載	担当医回診に同行 カルテ記載
昼 休 み					
午後	検査、処置	検査、処置	検査、処置	検査、処置 血液内科勉強会	検査、処置 病棟カンファレンス 症例検討会
18:00-		内科会(月1回)	スタッフ勉強会 Death カンファ (月1回)		研究会などに参加

血液内科症例検討会：週1回（金 16:30-17:30）

血液内科病棟カンファレンス：週1回（金 16:00～16:30）

勉強会：週1回（木 17:30-）

スタッフ勉強会および Death カンファ（月1回）

学術活動

血液関連研究会、血液学会への参加、発表
時期をみて週1回程度の血液内科外来診療を行う。

5. 評価

回診、カンファレンス等にて評価を行う。